

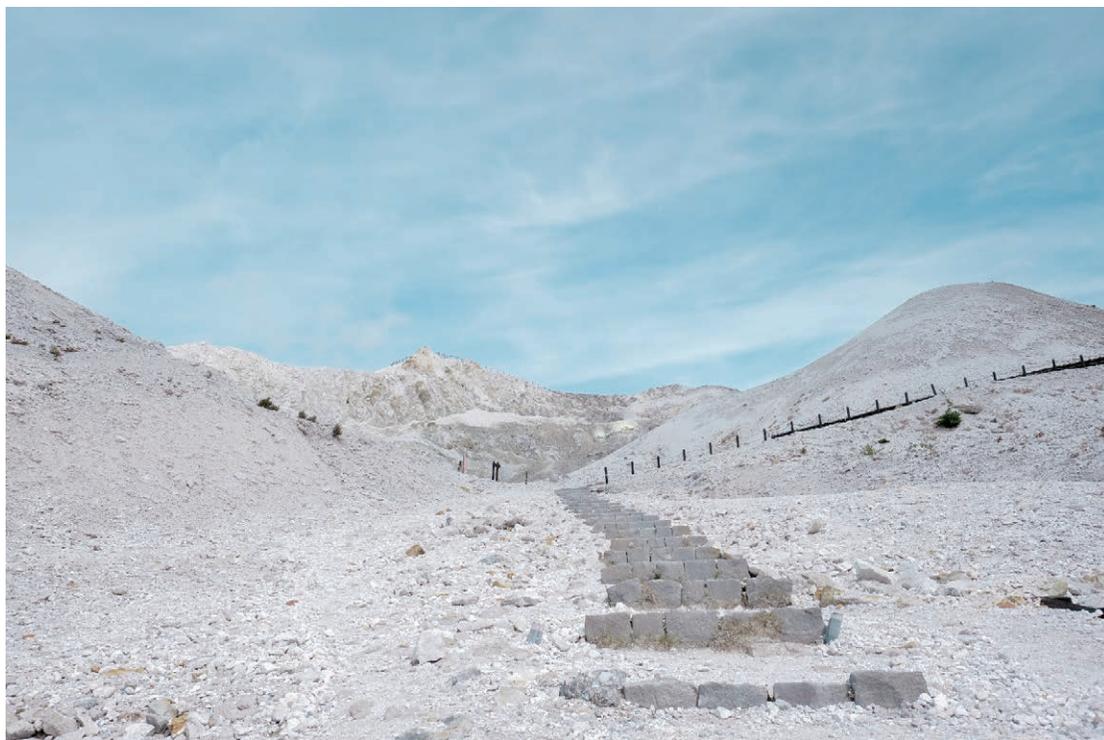


あだいに

102号

令和3年10月20日

編集発行：男鹿潟上南秋医師会 <http://oknmed.jp>
〒010-0201 秋田県潟上市天王字上江川47-1616 ☎(018)878-7976 (FAX)(018)878-2517



目次

特集 コロナと日々の暮らし

- ・新型コロナウイルス感染症
—終息への道筋は未だ鈍色の雲の彼方に—
中鉢明彦 … 2
- ・コロナ禍でも笑顔に
～プロジェクト8プレゼンツ～夜市～
佐藤友紀 … 3
- ・新たな老健施設をスタートして
柴崎達徳 … 4
- ・コロナとなぜかファミリー・ヒストリー
小林 顕 … 5
- ・コロナウイルスと枕投げ～構造的合理性?～
佐々木康雄 … 6
- ・コロナの中で秋田を想う 佐藤浩和 … 8
- ・コロナと日々の暮らし 鷺谷一晴 … 9

- 会長レター⑳ 晴耕雨耕と行方不明
佐々木範明 … 10
- ふんぶんコラム … 11
- 理事会 … 12
- 私のおすすめ 萱場 恵 … 12
- 暇ですが退屈ではありません
浅利正雄 … 13
- 生涯教育講座
飯野健二先生/南 慎一郎先生 … 14
- コロナでみな狂っている 大窪天三幸 … 16
- 白い巨塔 肥田野文夫 … 18
- 今日の診察室から⑤⑥ 古谷雅幸 … 19
- ナイトキャップ … 20
- 編集後記 … 21
- 表紙説明 … 22

コロナと日々の暮らし

コロナの感染拡大が続く8月末、「コロナと日々の暮らし」をテーマに原稿を募集した。命・第一として種々制約が多く、ワクチン接種で忙しい第5波の最中、様々な角度から貴重なエッセイを賜った。篤とご覧あれ。



新型コロナウイルス感染症

— 終息への道筋は
未だ鈍色の雲の彼方に —

湖東厚生病院（八郎潟町）

中 鉢 明 彦

強毒性のδ株による新型コロナウイルス感染症の巨大な第5波もTokyo 2020の閉幕と同調するかのように鎮静化してきています。その一方で今後も新たな変異株の出現により第6波、果ては第n波までが繰り返し襲ってくるのは間違いないといった悲観的予測もなされています。

およそ1世紀前の1918年に世界的大流行を引き起こしたスペイン風邪、ワクチンや治療薬を持たなかった人類は感染爆発の嵐が過ぎ去るのを、恐怖と祈りの中で待つしかありませんでした。全世界総人口の3%にも及んだ5000万人以上の人間の死、一方で短期間のうちに



八郎潟のススキ

地球規模の「集団免疫」が達成され大流行は、わずか1年余りのうちに終息しました。そして、その嵐の中を生き延びた人々は、感染症の脅威から一気に解放されたのです。1世紀を経た2020年春、新型コロナウイルスの世界的大流行による医療崩壊、その修羅場を伝える衝撃的な映像が武漢を始めイタリア、スペイン、米国から次々と報じられました。しかしながら、災害級の医療崩壊を引き起こした大流行であっても感染者は地域

住民の10%にも満たなかったことが後の抗体保有率により分かりました。公衆衛生や医療の劇的な進歩の恩恵により、感染爆発によって社会が荒廃に至るリスクは回避できるようになった反面、短期間で集団免疫を獲得することが不可能な時代、ある意味で感染大流行に対する戦略が複雑化したために、その解が見えない世界となっているのです。

そうした状況の中、全世界で積極的に進められているワクチン接種、それは新型コロナウイルスの切り札として短期間のうちに集団免疫を獲得することによりコロナ前の世界を取り戻していくと期待されていた戦略でした。しかしδ株の感染爆発により数十万人の死者を出したインドでは自然感染での抗体保有率が流行地では70%近くに達しましたがが今も連日、3万人を超える新規感染、そして500人におよぶ死亡が続いています。更

にワクチン接種が進んでいる多くの国々でも、株の感染再爆発が相次いで報じられるに至り、いかにワクチン接種率を上げようとも新型コロナウイルスに対しては一時的な集団免疫すら達成不可能であるという厳しい現実が浮き彫りにされました（勿論、ワクチン接種による重症化や死亡リスクの低減効果が、株に対して十分に期待できるのは間違いないところですが）。加えて、自然感染やワクチン接種によって得られた免疫が果たして、どの程度の期間、持続するののか、そして新たな変異株に対してどの程度の感染防御能を示すのかについても現時点では全く不明であり、この点に関しても専門家の間で否定的な見通しが主流のようです。

新型コロナウイルス感染による破滅的な感染拡大を抑えるためには、今後も社会経済活動に一定の制限を設けつつワクチンの追加接種を続けざるを得ない、そんな

鈍色の「未来予想図」を受容しながら緩やかに集団免疫が進んでいくのを待つしかないというのが私たちの置かれている現実

です。そして、これは公衆衛生と医学の革命的進歩によりウイルスとの戦いにおける幾多の武器と戦略、それは何とも中途

半端であるとの印象を拭きませんが、そんな矛と盾を手に入れた人類に突きつけられている宿命的課題とも言えるのです。



コロナ禍でも笑顔に

「プロジェクト8」

「プレゼンツ一夜市」

えきまえ佐藤薬局（八郎潟町）

佐藤 友紀

本来であれば、昨年7月の開催で10回目となるはずだった一夜市。10回目だからこそ盛大に開催しようとメンバーで話し合っていました。結果は、新型コロナウイルスの感染拡大で開催延期。

当時は、来年にさえなればいつも通りの生活が戻ってくるだろうと甘い考えを持っていました。しかし、現実はそのままで甘くはなく昨年よりも厳しい状況

になり、7月開催を見送り9月開催に延期となりました。果たして9月も出来るのか、出来たとしても通常開催は無理ではないか。飲食を無しにするか。町民限定のイベントだったら。オンラインでの開催としてはどうかなど、色々なパターンを考えていました。8月下旬、9月開催を強行しても誰も喜ばないだろうとメンバー内で意見が一致し、10月30日の開催へ延期とな

りました。

現在も開催方法は模索中ですが、決定しているのは、県在住の方のみの来場、オンラインとのハイブリッド、花火は必ず打ち上げる、開催はするということです。感染状況によっては開催方法が変更になる可能性ももちろんあります。開催に関して賛否両論あることも理解しています。ですので、感染防止対策はしっかりととした上で開催します。

なぜそこまで開催にこだわるのかと思う方もいるでしょう。個人の意見になるかもしれませんが、一日市盆踊りもこどもの日の願人踊も中止となり、町が賑わう機会も無くなり、人も自粛、自粛で疲れている、そして子供達が活躍する場も失われて

hobbykachi 2021
 いちいち
一夜市
 開催日 [開場]15時 会場 八郎湯町えきまえ交流館
10/30土 はちパル
 駐車場 使用 雨天時 ずばーく八郎湯
 PM 4:00 子供願人踊・秋田音頭
 PM 4:30 きらね げ笑イライブ
 PM 5:00 ステージ背景披露
 PM 5:30 羅漢 & DJ RATSU a.k.a. BERABOW
 PM 7:00 おやちゃんの 衣装大賞
 PM 8:00 アスバラダイスオーケストラ
 PM 8:40 打ち上げ花火
 MC 小玉 夕美
 町を元気にしたい! という一念で、いざ 10回目の一夜市へ
 TEL 050-3709-2886

いると思っています。マスクで直接の笑顔は見られないかもしれないけれど、皆さんを笑顔にしたい、八郎湯町って楽しいと思ってもらいたい。コロナ禍でもやり方さえ間違わなければ、イベントはやっていいんだというところをお見せ出来ればと考えています。コロナとの共存、とても難しいことではあると思いますが、来年、再来年へと繋がって行くよう全力で戦います。

ここで今年のイベント内容をご紹介します。5月5日に披露するはずだった子供達による願人踊と秋田音頭。練習を頑張っていたのに披露する場が無かったので、今年は一夜市にて披露です。仮装大賞、一日市盆踊りも中止になっていたので、仮装に飢えている方々に集まってもらいます。是非参加したいという方の連絡お待ちしています。その他、お笑い芸人きつね、五

城目出身ラッパ・羅漢、アスパラダイスオーケストラによるライブと楽しめる内容となっております。そして、フィナーレには皆様から協賛・募金していただき、今年も大きな花火を打ち

上げます。現地に来る、オンラインで見ると、どのような方法でもいいのです。ぜひ第10回『プロジェクト8プレゼンツ一夜市』へ!

**新たな老健施設を
スタートして**

医療法人正和会(湯上市)
 事業管理部 柴崎達徳

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、東京オリンピック開催の是非が問われていた令和3年4月1日に、正和会グループで3つ目となる介護老人保健施設『男鹿老健』が、オープンしました。寒風山の麓にあり、JR男鹿線脇本駅に近く、電車からも見える施設です。施設で働く職員は合わせて72名、本来の老健施設の役割である在宅復帰

に力を入れている施設です。誰もが年齢を重ねると、少しずつ身体機能の低下が進み、中には好きなものを、好きな食事形態で食べることが出来なくなってしまう方もいらっしゃいます。でも、多くの方は住み慣れた自宅で、好きなものを食べて過ごしたいと思っています。男鹿老健では、その思いの実現に向けて、手助けできるスタッ

フを出来る限りそろえようとしています。医師、看護師、介護福祉士、介護支援専門員の他、リハビリスタッフとしては、理学療法士と作業療法士、歯科衛生士を配属し、10月からは言語聴覚士も加わり、9名での活動予定ですが、さらに増員に向けてリクルートに力を入れているところです。

正和会グループでは、経管栄養の方が経口摂取可能となった事例を積み重ねており、男鹿老健でも、関連医療機関でのVF（嚥下造影検査）やVE（嚥下内視鏡検査）を利用した口腔機能と嚥下評価を行い、一人一人にあったアプローチを可能にしております。正和会グループの基本理念にもある『患者さんの喜びづくり』を進める意味でも、食べたくても食べられなかった方が、食べられるようになる喜びを、多くの方に感じていただきたいと思っております。

また6月の下旬には、沢山の

方たちの御協力で、近隣の介護施設を利用している高齢者や介護スタッフへの、新型コロナウイルスのワクチン接種を行うこともできました。正和会グループのシンボルマークには一人一人が協力すれば何か形になるという思いが込められております。新たな老健施設としてオープンから半年が経過しましたが、コロナ禍ということもあ

り、まだまだ面会の規制等で閉ざされた施設となっており、以前のような生活に戻った際には、ご利用者、ご家族、そして地域の方々と共に、歩いていけるような開かれた施設を目指していきたいと考えております。男鹿から一歩先行く老健施設として情報発信ができるよう、医療・福祉サービスだけではなく、SDGsについても地

域全体で出来ることを、進めていけたらと思います。これから取り組んでいきたい、たくさんのごことを申し述べました。現在、新たな老健施設『男鹿老健』の役割を考えながら、地域と共に歩みを進める老健施設を目指して、『男鹿老健アポロ計画』を策定中です。



コロナとなぜか ファミリー・ヒストリー

介護老人保健施設ほのぼの苑（潟上市）

小林 顕

私の曾祖父は井川町なもみだ施田の生

まれで、明治時代に南秋の中心だった五城目に出て、福祿寿酒造の門前に小林表具店を開業した。その後、祖父の兄が実家を

継ぎ、祖父は暖簾分けを許され

秋田市柳町四十七番地（正一位

満光稲荷神社脇）に秋田小林表具店を昭和初期に開業した。看板には「美術御表装・横額屏風一式 小林表具店」とあった。

祖父は腕のいい職人で、昭和

三十年頃の全盛期には平野政吉美術館にある藤田嗣治の猫の掛け軸なども表装した。また、平福百穂の虎の大作を衝立に表装し、表具店の店先に、今で言うインスタレーションとして展示していたそうだ（写真）。本当かどうかはわからないが、現在、横手の秋田県立近代美術館所蔵の重要文化財、小田野直武の「不忍池図」も表装したそう

だ。この不忍池図があまりに素晴



表具師の祖父が衝立に表装した平福百穂の「虎図」。しばらく小林表具店の店先にあった

らしかったので、数寄者の祖父はできればずっと手元に置いておきたかった。それで既に表装が終わったのに「江戸時代の秋田蘭画だ。表装に手間と日にかかるとか何とか言ってるのかなか納品せず、しばらくの間、家の居間に掛けて朝な夕な眺めていたそうさ。祖父も私と同じく芸術を愛す人間だったよ

うで嬉しく思う。
さて、いつでも行けそうでないかなが行けないのが自分のルーツである。私は大久保のほの苑に在るが、南秋に点在する先祖に關係する所には全く行けたことがなかった。ところが今年、医師会の依頼で5月から南秋の湯上市以外の3町全てにワクチン接種に行くことになったのだ。

ある。白澤恵舟さんがうちに來られた際には、
・よ・さ・く・が・入・っ・た・き・ゃ
の・つ・こ・汁（うまく発音できないが）という、五城目人なら誰でも知っていないが五城目人以外は知らない天然記念物のような鍋物をみんなでいただいたものだ。

五城目の町民センターには10回ぐらい行つた。午後の接種を大過なく終え、夕方センターを出ると目の前に大きな森山が聳えている。近くで見ると森山は、遠くで見ると森山と全く違って勇

ある。白澤恵舟さんが
・よ・さ・く・が・入・っ・た・き・ゃ
の・つ・こ・汁（うまく発音できないが）という、五城目人なら誰でも知っていないが五城目人以外は知らない天然記念物のような鍋物をみんなでいただいたものだ。

五城目の町民センターには10回ぐらい行つた。午後の接種を大過なく終え、夕方センターを出ると目の前に大きな森山が聳えている。近くで見ると森山は、遠くで見ると森山と全く違って勇

ある。白澤恵舟さんが
・よ・さ・く・が・入・っ・た・き・ゃ
の・つ・こ・汁（うまく発音できないが）という、五城目人なら誰でも知っていないが五城目人以外は知らない天然記念物のような鍋物をみんなでいただいたものだ。

五城目の町民センターには10回ぐらい行つた。午後の接種を大過なく終え、夕方センターを出ると目の前に大きな森山が聳えている。近くで見ると森山は、遠くで見ると森山と全く違って勇

ある。白澤恵舟さんが
・よ・さ・く・が・入・っ・た・き・ゃ
の・つ・こ・汁（うまく発音できないが）という、五城目人なら誰でも知っていないが五城目人以外は知らない天然記念物のような鍋物をみんなでいただいたものだ。

ある。白澤恵舟さんが
・よ・さ・く・が・入・っ・た・き・ゃ
の・つ・こ・汁（うまく発音できないが）という、五城目人なら誰でも知っていないが五城目人以外は知らない天然記念物のような鍋物をみんなでいただいたものだ。

ある。白澤恵舟さんが
・よ・さ・く・が・入・っ・た・き・ゃ
の・つ・こ・汁（うまく発音できないが）という、五城目人なら誰でも知っていないが五城目人以外は知らない天然記念物のような鍋物をみんなでいただいたものだ。

コロナウイルスと枕投げ
構造的合理性？
ハートインククリニック（湯上市）
佐々木 康 雄

ある。白澤恵舟さんが
・よ・さ・く・が・入・っ・た・き・ゃ
の・つ・こ・汁（うまく発音できないが）という、五城目人なら誰でも知っていないが五城目人以外は知らない天然記念物のような鍋物をみんなでいただいたものだ。

ある。白澤恵舟さんが
・よ・さ・く・が・入・っ・た・き・ゃ
の・つ・こ・汁（うまく発音できないが）という、五城目人なら誰でも知っていないが五城目人以外は知らない天然記念物のような鍋物をみんなでいただいたものだ。

く見えるあの山があの形で安定したことを「構造的合理性」というそうだ。自然にあの形に収まった、なるようにしかならないということ、これまで英露米が介入してきたアフガンが本来の姿へ戻りそうなもの、構造的合理性だろうか。

1918（大正7）年から世界で猛威を振るったスペイン風邪。人口5500万人だった日本国内で45万の死者を出し3年弱で終息した。当時はワクチンも薬もなく衛生状態も貧弱だった。子を失った歌人の与謝野晶子は「泥棒を捕まえてから縄を縋うような」国の対応を痛罵している。感染を繰り返し患者があふれウイルスは変異を重ね、やがて自然免疫の獲得、一件落着というのは、山に喩えればなるようになった自然の形「構造的合理性」であろう。もうすぐ3年目に入る新型コロナ。七転八倒の数波を経て沙汰やみになりそうな気配であるが…。



太平山山頂へあと少し（著者・左）

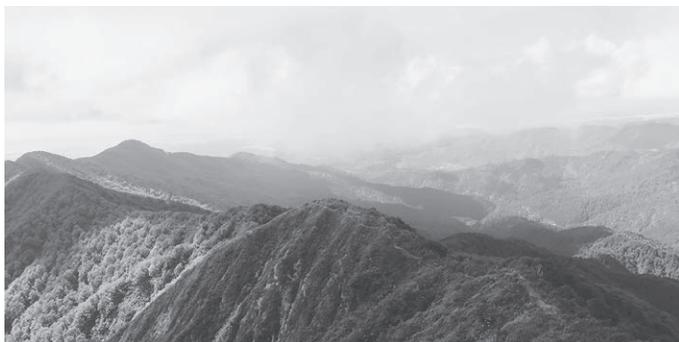
小学6年の子を持つ患者さんに、子供たち最大の楽しみ「修学旅行」について伺うと、従来

の仙台・松島方面は2年前から県外不出となり、昨年はあっさり断念した学校もあったが、今年はまだ中止の話はない。県内の尾去沢鉱山、小坂康楽館、角館武家屋敷、田沢湖芸術村わらび座に宿泊、ミュージカル観劇後はスタッフと交流、横手ふるさと村、増田まんが美術館、大曲はなび・アムなど見学と体験の多彩なコースである。県北県南の学校なら男鹿半島も目玉だ。傑作だったのは生徒たちに

ドッジボールならぬ「枕投げ」を存分にやらせてくれる旅館を見つけた学校である。「枕はコロナウイルスだと思え。受け損なったり当てられたりしたらそれが感染というものだ」と教師も張り切ったという。帰った子が「あんなに楽しかったのは生まれて初めて」と喜ぶ姿に親も「13歳で生まれて初めてには参った」と相手を崩していた。

コソコソで移動時間が長い遠出の旅から近場の滞在・体験型の旅へ、修学に名を借りた遊びの旅へと構造的安定に至るか。

9月に入りコロナワクチン接種も2回目の人が増えてきた。「この注射から2週間たつとあなたは感染しにくくなります。ちよいと油断して、経営が苦しい飲食店へ！」といったら受付の娘が「おとん、まさか集団接種会場でもそんなこと言っていないよね？」と眉をひそめる。君の母校応援部では新歓ポスターに『観戦ではない。参戦だ』と書



山頂から馬場目岳方面を望む



コロナの中で秋田を想う

佐藤医院 (男鹿市)
佐藤 浩 和

診療所の窓からお昼頃には飛行機雲が10本も見えたのですが、コロナが起きてから2、3本しかみえない日々が続いています。自由に飛行機に乗れる日が早くきて欲しいものです。

毎年、全国の学力テストで秋田県は上位にランクされています。優秀で指導熱心な先生方のおかげでしょう。弘戸小学校の学校医を父から受け継ぎもう20年になりますが、生徒数は年々減少しています。ひとクラス多くて15人程度、少ない学年では6、7人です。先生の人数が多いせいか幸い複式学級にはなっていません。

都市部に比べて大変恵まれた環境です。優秀な先生方の殆ど

個別指導に近い状況での授業、落ちこぼれもなく生徒一人一人に目が届き学力向上はもちろん、いじめ問題にもすぐに対応できるでしょう。全国的に教育県として売り出し、小中学生を持つ家庭を秋田に呼び込むことは出来ませんか。仕事はリモートが多くなっており、早期に5G環境を整備しネット環境を整備すれば、いじめ問題で悩む家庭や、手厚い教育を希望する家庭には魅力的だと思います。

秋田赤十字病院の元院長、竹本吉夫先生が仰っていたジェロントピア、老人の為の桃源郷です。先生は常々秋田にこれを作ろうと仰っておりました。県内の人口減少が続くなか、若者の

定住あるいは流入人口を増やそうという考えに加え、老人の人口増加を図りましょう。都市部では介護施設の不足が言われています。全国の要介護老人を秋田で一手に引き受けます。介護費用を県内の自治体から持ち出さないために介護保険の特区を作り、住民票を県外の居住地から移す事なく介護サービスを提供します。看取りまで行い、お葬式もあげて遺骨の状態でお帰りになる。姥捨山にならぬようホスピタリティの充実が肝心です。この先県内の施設も徐々に利用者は減り空きができるでしょう。雇用にも役立ちます。最近秋田市に県外からの人を受け入れる介護施設ができたように注目しています。

毎日曜日のゴルフは日頃の運動不足解消に欠かせません。コロナ以前は県外に遠征することもあり、ここでも県内のゴルフ場とのホスピタリティの違いを常々感じておりました。秋田に

は秋田の良さがあると自分を納得させ楽しんできました。メンバーコースである○田カントリーで、気の置けない友人や先輩とゴルフをしてみました。残念な事に、昨年から5人の壁ができてしまったのです。5人の場合は3人と2人の2組になります。ところが2人でのラウンドは日曜日不可となっていました。まさに青天の霹靂。5週に1回は5人のうちの誰かが休まなければなりません。あるいはもう1人加えて6人にしなければラウンドできないのです。従業員の方に伺ったところ、決まった事だから従って下さいとのお返事。ホスピタリティ以前の問題、メンバーのプレーする権利を奪うものです。私も含め全員高齢で、この先プレーする機会も減っていくでしょう。○田カントリーの理事の方々及び従業員の方々は、ジェロントピアとは言いません、メンバーが楽しく気持ちよくゴルフができ

るような運営をお願いします。
また、この拙文がメンバーに
相応しくない行為とみなされ、
出入り禁止とならないことを
祈っております。

秋田が好き、新聞やテレビで
いい所と言う人は殆ど、秋田に
住んでいません。ギバちゃんく
らいです。秋田は遠くにありて
想う所なのかもしれません。

コロナと日々の暮らし



男鹿潟上南秋歯科医師会
会長 鷲谷 一晴
わしや歯科医院（五城目町）

この度、男鹿潟上南秋歯科医
師会の会長に就任致しました鷲
谷一晴でございます。石井秀彦
会長の後を引き継ぎ、当会の会
長を務めさせて頂きます。どう
ぞよろしく願います。
会長就任にあたり、一言ご挨拶
を申し上げます。

COVID-19の感染拡大に
対する注意喚起が発せられて、
もう2年近くが経過するもの
の、未だ収束には至っておりま

せん。しかしながら、57年ぶり
の東京オリンピック開催、そし
て初めて見る競技が多かったパ
ラリンピックからたくさんの方
動と勇気をもらいました。それ
ゆえ当会も会員の皆様と共に理
解しあい励ましあって、今でき
る対策に微力ながら専心努力し
てまいる所存でございますので、
一層のご支援とご協力を賜りま
すようお願い申し上げます。
さて、私は開業以来、健口か

ら健康を目指し「生涯、自分の
歯で食べる」をモットーに患者
さん最優先で職務を遂行してき
ました。しかし、ここに来て世
界を震えさせるCOVID-19
の感染拡大はまさに予想だにし
なかったことで、当院の感染症
対策も基本に従い当たり前のこ
とを当たり前に行っています。
そもそも口腔ケアが全身の健
康に関連があることは明らかに
されてきましたが、COVID-
19の感染および重症化を防
げるのかの問いには、まだ研究
が十分に行われていないためエ
ビデンスとなるデータはありま
せん。しかし、口腔内の細菌を
減らす歯磨きなどが、ウイルス
の体内への侵入を防ぐことにつ
ながると確信をしています。



嚙むショップ

るために2014年、オーラル
ケア専門店「嚙むshop」を当
院敷地内に開設しました。この
shopは4坪のスペースで、オー
ラルケアグッズを所狭しと取り
揃えています。診療で患者さん
の口腔内を懸命に治療しても、
患者さん自らのホームケアがな
いと、治るものも治りません。
だからこそ、毎日行うホームケ
アの確立が次回の診療、そして
COVID-19にも多大な影響
を与えると考えます。

また、ウイルスの唯一無二の目的は子孫を残すことで、変異を繰り返しながら戦いを挑んできます。我々もそれ以上にヤツらに打ち勝つよう努力しなければなりません。ならば、どのような努力が必要でしょうか？

私の予防とは、細菌に嫌われるような口腔内環境を整え、口腔ケアを真剣に徹底してやることです。そのケアとは、もちろん歯磨きと舌の清掃が基本で、補助的に洗口液を使つての嗽は欠かしません。

これまで述べたことの繰り返しになりますが、体内にバクテリアもウイルスも入れたくないのです。この状況下、私の日々の暮らしにおいては、健全な行動を保っております、と言いたいのです。

最後に、近い将来必ず世界が立ち直り、新たな時代を築いていけるよう祈念して、会長就任の挨拶とさせて頂きます。

会長レター

20

晴耕雨耕と行方不明

佐々木医院（潟上市）

佐々木 範明



協力をお願いすることになると
思います。その時はどうぞまた
よろしく願います。

コロナ雨のせいもあって、いま医師会の仕事は晴耕雨耕で休み無しですが、この雨はいずれ止むもの…止ませなくてはいいけないものです。今しばらく辛抱の時と思ひ、止むのを待てるのは我々60代以降の年齢が成せる技量でしょうか。愛犬と泊まれるホテルも見つけ、楽しみにしていることはたくさん…。

そんなある日、「ケンシン」が行方不明になってしまいました。間もなく診察も終わる夕方、内

コロナの雨が降り始めて間もなく丸2年になります。こんな長雨になることを予測していた人はいなかったでしょう。強く降ったり上がりそうになったりしながら、5回目の土砂降りがやっと治まってきたところ…と思つて良いでしょうか。

コロナ雨を凌ぐための雨合羽^{がっほ}とも言えるワクチン接種は、この会報が発行される頃に潟上市以外の集団接種はほぼ終了し希望者のほとんどの方が2回の接種を終えます。潟上市も11月末で12歳以上の対象者が終了します。個別接種での対応が少し残るとはいえ、一時のワクチン不

足のアクシデントを乗り越えこ
うして終了の時期を迎えること
が出来たのは、各市町村担当職
員の頑張り、多忙な中、集団
接種に出務していただいた医師
会会員の献身的な協力、注射実
務に携わってくれた看護師さ
ん、バックヤードで
黙々と注射器にワクチ
ンの充填作業をしてく
れた薬剤師さん、皆さ
んのお陰です。本当に
ありがとうございます
。今後、もしブラス
ター接種と言う名の3
回目の接種が行われる
ようであれば、またご



ムシヨ帰りのケンシン君

線で「ケンシンが居ないんだけど…」と家内から連絡。診察もそこそこに、居るはずのエリアに行くと、居ない！ゲートは閉じているし、穴を掘って脱走した形跡もなし。でも居ない…。暗くなるまで家内と思いだたるところをズーッと捜したものの、居ない。散歩で顔見知りの犬の飼い主さんたちとすれ違う度に訳を話し、見かけたら連絡をとお願ひしました。

咽喉を通らない夕食を無理矢理押し込んで、また搜索。23時頃、諦めて帰宅したものの、眠



首に迷子札つけられふてくされの図

で保護しております」
「え！エ！e！！」
…という訳ですぐ五城目署へ。
玄関ホールで待っている、連れてこられたのは間違いなくウチの「ケンシン」。私たちが捜していた方角とは全く反対の町中に行ってしまった、道路を

れない…。ちょっとした物音でも「帰ってきたか！」と目が覚めてしまう。翌朝も早くから家の周りを見回るが居ない。飼犬の失踪時は「家畜の遺失」ということで警察と市役所市民生活課、保健所に連絡することになったので、早朝でしたが所轄の五城目警察にまず電話。「飼犬が居なくなったのですか？」「どんな犬ですか？」「白い柴犬です」「首輪は何色ですか？」「茶色の革製です」「模様は？」「ハート型のくり抜きの柄です」「あくそれならこちら

ウロウロしているとところを愛犬家の方が保護し警察に連絡してくれました（なんとうちの娘の同級生の家）。しつかり管理して下さいと担当警察官から少しお説教されたものの、「おとなしくて無駄吠えも全くな、人なつっこくていい犬ですね」。女性職員から「カワイい」と撫でてもらってきました。この日の診察は30分ほど開始が遅れましたが、ヤレヤレ、ホッとしました。



アケビ (大久保)

ふんふんコラム 賛否両論首相

1年前の就任時から「火中の栗拾い」と案じられていた秋田出身の菅義偉首相が退任した。燃え盛るコロナ対応では緊急事態宣言を出したり引いたり、ワクチンでも出足の鈍さにケチがつき、だが日本は感染者死者数ともに世界的に見て非常に少ないのは事実だ。

開催を疑問視する声が激しかった東京オリパラ。パソンス会長は「コロナ禍の日本で行われた開催は他の国では無理だった…世界は日本が果たした役割を忘れない」と激賞した。世界に公約したおもてなしを、やらないで悔やむよりはと敢行し、中止に伴う国民の心的外傷を避け盛り上げたといえる。

日医はワクチン個別接種に執着、非医師の注射と病床確保に尻込み、野党とマスコミからコロナ不安と不満のかけ口にされた首相。舌足らず、朴訥、風采も…とはいえ1年で4年分働いた力が入り。お疲れさま。1年で充分だ。(ふんころがし)

理事会

9月7日 天王温泉くらら

8月3日にハートフル
ネット秋田・第1回会合。
児玉光会員が出席。県から
予算が付いた。

コロナワクチン状況。男
鹿市では冷蔵庫の故障で
1700回分のワクチン廃
棄、個別接種は中止、従来
の集団継続。不足は接種完
了した大潟村から580回
分の供給を得て2回接種は
78%。10月3日まで89%終
了予定。

潟上市は11月に終了予定
だが、会場の作業効率が五
城目や八郎潟に比べて劣る
印象。両町や大館市のように
終了後の反省会を行わな
いたためらしい。

宿泊療養施設と自宅療
養。共に現在は病状観察の

み。秋田県は自宅療養を認
めず、ペットのため自宅を
希望しても保健所が不許
可。感染者増で自宅が増え
れば往診となるが、防護
衣着脱の手間、付近住民の
目等から往診には難しい側
面あり。

高齢者の感染と死亡が激
減し第5波はピークを過ぎ
たという論調もある。増加
中の若者はラインなどを使
いこなすため療養中の観察
がしやすい由。

国は学校に抗原検査キッ
トと教諭用の手順表を配布
した。疑わしきは検査より
生徒を医療機関へすぐ送る
べき、陰性を過信されては
困ると懸念の声多数。

私のおすすめ

九十八歳の生き様に 喝采

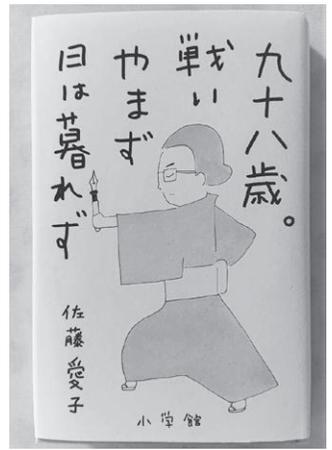


出戸診療所（潟上市）

萱場 恵

覚え、きつい言葉が発せられる
ことも。孤独に打ちひしがれる
方もいます。

そんな今、おすすめするのが
『九十八歳。戦いやまず 日は
暮れず』です。この秋に98歳に
なされる佐藤愛子さんの最後
（多分）のエッセイ集です。幼
少時の思い出、友人との語らい
から昨今の世界情勢まで（毎
朝、新聞を2紙読んでいるとの
こと）、一昨年2月から今年5
月まで女性週刊誌に連載された
随筆21編が収載されています。
愛子さんは大正12年生まれ。女
学生の時に戦争を体験していま
す。お見合い結婚をした将校さ
んは戦争中の病気が原因で、そ
の後モルヒネ中毒になり離婚。
その後に再婚されますが、夫の
事業が失敗し、多額の借金を背
負うこととなります（このいき
さつは1969年に直木賞を受
賞した『戦いすんで日が暮れ
て』に書かれているらしい。残



念ながら私は未読)。でも愛子さんはめげることも、怯むこともなく働き蜂となつて働き続けるのです。借金を返済し終わつたことにも気付かず唯々原稿を書き続けました。このままでは大変と東京脱出して北海道に別荘を建てますが、そのいきさつや仕上がり、関わつた知人たちもユニーク！ 思わず声を出して笑つてしまいました。一方、昨今の話題から、父親が虐待の末にお嬢さんを死亡させてしまった事件の時代背景（「お尻の話」、安倍首相の小さなマスクからはみ出した顎に孤独を感じたとか（「小さなマスク」、

森元首相が感じたままを口にしただけに、東京五輪・パラリンピック組織委員会会長を辞任させられたのは「釈然としない話」の中で持論を述べています。そして、98歳を前について

断筆宣言をされたのです。

66歳で老後を語り、「八十二歳、いぶん長い老後である」を書いてから15年。最後の言葉は「みなさん、さようなら。ごきげんよう。ご挨拶して罷り去ります。」潔い人生です。

愛子さんのように「雑多なものをもそのまま飲み込む」「細かいことを気にしていたら生きていけない」という境地には到底なれませんが、悲喜こもごも丸ごと受け入れて、私の老後を生きていきたいなと思いました。波瀾万丈の人生を軽妙洒落な文章で綴られたこのエッセイ集、コロナ禍の今、声を出して笑つてみませんか。



暇ですが

退屈ではありません

杉山病院（潟上市）

浅利 正雄

日本棋院南秋支部が解散し

た。それ以前から、八郎潟町でも囲碁の対局に集まる人が少なくなり自然になくなった。コロナの影響もあるが、会員の高齢化が大きいと思う。囲碁は本を読んで楽しむことにしている。

もう一つの読書は、町立図書館をよく利用している乱読家だが、藤沢周平全集、山本周五郎全集、向田邦子全集、よく理解できないのに源氏物語も読了した。今、司馬遼太郎の『街道をゆく』を読んでいる。

旅行の方は、歩くことが辛くなってきたが、本の中で国内だけでなくオランダへ行ったりニューヨークへ行ったりして楽

しんでいる。

湖東病院勤務医の頃、農村の医療について本を3冊読んだ。佐久病院の若月先生の『村で病気とたたかう』。岩手県国保連の2人の共著で、出稼ぎ問題の『荒廃する農村と医療』。そして沢石村の『自分たちで生命を守った村』―すごく感動した。農村医療の厳しい現実に負けそうになり、本を読んだり議論して熱くなつたりした。

「若かったなあ」と懐かしい。



男鹿 湯上
南秋医師会

生涯教育講座

「心不全治療 患者さん・家族のために
できること」再入院を減らす」

秋田大学大学院医学系研究科
循環器内科学講座

准教授 飯野 健 二先生



日時▼令和3年7月15日

場所▼(メイン会場) ホテル大和・

(サテライト会場) 男鹿市

民文化会館または個人視聴

まだまだコロナは収まらず。今回も会場分散と個人視聴
で3密を回避。今回は最新の心不全治療について御講演頂
いた。

心不全における問題点として
は再入院が多いということ、再
入院を繰り返すたびに全死亡率
または心不全による再入院率が
高くなっていくということであ

る。悪性腫瘍の5年生存率は近
年では60%を超えたと言われて
いるが、心不全の5年生存率は
約25%と低く、5年以内の死亡
と再入院を併せると96%以上に

なると言われている。

2019年に秋田大学循環器
内科に入院した患者の70%以上
が何らかの心不全を起こしてい
た。そのうち駆出率40%未満の
低心機能の人は、急患入院、再
入院の割合が高かった。何とか
して再入院を減らしたいとい
うのが心不全治療の目標の1つと
なっている。

心不全の薬物治療では、
1970年ころから利尿薬、ジ
ギタリスが中心であった。その
後、ACE(アンジオテンシン
変換酵素)阻害薬・ARB(ア
ンジオテンシンII受容体拮抗
薬)、β遮断薬、MRA(抗ア
ルドステロン薬を含めたミネラ
ルコルチコイド受容体拮抗薬)
という新たな薬剤が出てきた。
最新の日本循環器学会の心不全
治療アルゴリズムでは、基本薬
としてACE阻害薬・ARB、
β遮断薬、MRAがあり、併用
薬として利尿薬、ジギタリス、

血管拡張薬があり、新たに保険
適応になったARNI(アンジ
オテンシン受容体ネプリライシ
ン阻害薬)、イブラジン、SG
LT2阻害薬が追加になった。

急性心不全に使用する薬とい
うのは症状を緩和するというこ
とが必要なので利尿薬が中心に
なる。ループ利尿薬、バゾプレ
シンV2受容体拮抗薬(トルバ
プタン)、α型ヒト心房性ナト
リウム利尿ポリペプチド製剤



如意輪寺の彼岸花 (北上市)

(カルペリチド)があるが、その中でトルバプタンが非常に有効で、近年、日常的に使われるようになった。

SGLT2阻害薬は左室駆出率30〜40%以下の患者で心不全入院を30%前後に抑えている。もともとは糖尿病の薬だったが、糖尿病の有無によらず心不全の治療に使われるようになった。

イバブラジンは、心臓の伝導性、収縮性、再分極および血圧に影響することなく心拍数のみを減少させる作用を有する。心拍数75/分以上の脈拍が速い人に適応がある。低心機能患者に投与して、心拍数の低下とともに、副作用を認めず安全に導入でき、血圧・NTproBNP（心不全の血液の指標）・NYHA（活動性による心不全重症度分類）の改善を認めた。

ARNIは心不全治療の基本薬であるACE阻害薬/ARB、β遮断薬、MRAを使用し

たうえてACE阻害薬/ARBからの切り替えてARNIを投与するという立ち位置で記載されている。心不全増悪因子のレニン・アンジオテンシン・アルドステロン系を抑制し、心不全

抑制因子のナトリウム利尿ペプチド系を増加させるという二重効果がある。心不全治療において患者さん・家族のために出来ること、再入院を減らすためには、病

態および増悪要因への指導・介入、使用可能な薬剤の的確な投与、必要があれば植込み型デバイス（CRT…心臓再同期療法）の適用に関して我々に相談して頂ければ、と考えている。

「最近の肝炎の動向と脂肪性肝障害

～生活習慣病を含めて～



秋田大学大学院医学系研究科
消化器内科学・神経内科学講座

助教 南 慎一郎 先生

日時▼令和3年9月16日
場所▼（発信会場）ホテル大和・
個人視聴のみ

お盆前後から秋田県でも新型コロナウイルス新規患者数が急増。そのため今回は演者・座長以外は全て個人視聴。今回は肝炎と脂肪性肝障害について御講演頂いた。

肝臓の疾患として代表的なも

篤な合併症に肝細胞癌がある。

のに肝硬変がある。肝硬変は

また、肝硬変に至るまでには無様な症状を引き起こすが、重症

状態の肝炎の状態も存在する。

肝硬変の成因には種々の原因がある。以前は7割程度がウイルス性だったが、近年ではウイルス性は5割未満となっている一方、アルコール性とNASH（非アルコール性脂肪性肝炎）によるものが増えてきている。

肝硬変の最大の合併症である肝細胞癌は癌種別の新規の罹患者数は世界では7番目だが、死亡者数では3位であり肝疾患・肝癌で亡くなる方はまだまだ多いというのが現状である。

世界的には肝硬変の原因としてはB型肝炎が多い。B型肝炎

のDNA量が多ければ多いほど肝硬変になりやすいということ

が分かっているため、治療はDNA量を下げる核酸アナログ製剤を使用するのが一般的である。

日本で多いC型肝炎の治療は、以前はインターフェロンを使っていたが、現在では直接作用型の抗ウイルス剤、いわゆるDA製剤と呼ばれるものが使われている。

B型肝炎、C型肝炎ともに治療薬の開発により減少しており、今後は非ウイルス型肝炎（自己免疫型肝炎、原発性胆汁性胆管炎といった自己免疫性疾患、アルコール性肝炎、脂肪性肝障害）からの発癌が重要になってくる。

アルコール性肝障害とは、通常は5年以上にわたる過剰の飲酒（1日平均純エタノール量60g以上）が肝障害の主な原因と考えられる病態である（ちなみに各種酒類の純エタノール量は次の通り。日本酒1合20g、ビール500ml25g、ウイスキー

ダブル25g、9%缶チューハイ500ml45g）。

最初に起こる変化としてはアルコール性脂肪肝、次いでアルコール性肝線維症、アルコール性肝炎、重症型アルコール性肝炎、アルコール性肝硬変と進行する。代償性肝硬変で禁酒をすれば5年生存率は約90%だが、飲酒を続けると70%未満まで低下する。非代償性肝硬変の飲酒継続者では5年生存率は30%以下になり、肝細胞癌のリスクも高くなる。

肝臓内に脂肪が蓄積した状態を脂肪肝と呼ぶ。飲酒をしない人において脂肪肝を伴った肝障害を、脂肪性肝障害（NAFLD）と呼ぶ。その中で脂肪性肝炎の状態をNASHと呼ぶ。診断は、脂肪肝があつて肝障害がある患者さんに対してB型肝炎、C型肝炎、自己免疫疾患がないことを確認して、飲酒歴を確認して飲酒の量がそんなに多

くない方がNAFLDということになる。NASHなのかNAFLDなのかを究極的判断するには肝生検が必要になる。

NAFLD/NASHの成因としては過食、肥満、インスリン抵抗性、酸化ストレス、腸内細菌、アディポカインなどの因子がparallelに働いて、正常肝からNAFLやNASHに進行していくと考えられている。

メタボリックシンドロームが

背景にあるため、合併する肥満、糖尿病、脂質異常症に対して、食事・運動療法、薬物治療を行うことで、肝逸脱酵素が改善することがある。



吉田賢志記者



コロナでみな狂っている

大窪胃腸科内科医院（五城目町）

大窪 天三幸

コロナでみな狂った。総裁任期切れで候補が乱立。さっそくまた得意の談合だ。総裁候補をもくろんだ下村元文科相が「テ

メエ、三役のクセに俺に楯つのか」と凄まれたかどうか。都合の良い理由で早々と菅に降ろされた。コロナでコロナ、小泉



ポスト・コロナの果実を得るのは？
(阿仁伏影のリンゴ)

の涙で菅の総裁選辞退宣言。即
自民党主催のバラエティ番組が
始まった。勝ち馬に乗らなけれ
ば衆議院選挙に負ける。候補者
は今までの主張を曲げ、支持派
閥の機嫌をとって、先の言動は
そういった意味ではないと平気
だ。あさましい。政治は国民の
生命と財産を守ることだとい
ながらまずは自分たちの政治生
命を守ることが第一だ。菅総理
は自分の成し遂げた功績を自画

自賛したが、ただ一つの功績は
突然の退陣表明により最後に国
民を目覚めさせたことだ。鶴田
浩二が歌った。「何から何ま
で真つ暗闇よ 筋の通らぬこと
ばかり 右を向いても左を見て
も 馬鹿と阿呆の絡み合い…」
前回はシナトラが、今度は鶴
田が天国で泣いている。菅の退
陣表明に影響したという小泉進
次郎が流した涙にコロナで死の
淵をさまよったタレントの野々
村真氏が厳しい批判を浴びせ
た。この有事のときにどこを向
いて涙を流しているのだと。
さてコロナ対策の一番は、こ
こまで重症者、死者が多くなる
とワクチンより治療薬である。
菅総理は日本学術会議のたかが
10億円の予算にケチを付けた
が、ある知識人は他国に比べ我
が国のワクチンと治療薬の開発
に計上した予算のなんと少ない
ことかと嘆いていた。我が国で
もイベルメクチン（特に安い）、

アビガンなど有効性を指摘する
治療薬があるが、外国からの高
い薬を輸入するためにこれらの
有効性を示すデータの発表が遅
れている。ワクチンについても
モデルナ製のワクチン注射で何
人か死んでいるが、ワクチンと
の因果関係は不明だと政府は釈
明。注射後に死亡者が出たので
あればワクチンの副作用が原因
と考える以外にない。衛星放送
の番組で「どこの政府も嘘をつ
く」というのがあった。
子供の頃「まわり将棋」とい
うものがあつた。将棋盤の四隅
に歩を置き将棋の駒を何個かに
ぎり将棋盤の上でポイと投げ、
駒の立ち方で前に進み、四隅に
つけばそのつど位が上がる。一
番早く王将になったものが勝つ。
これに字は分からないが「ゲツ
カミ（尻嗅？）」という手があつ
た。世の中どこでもゲームに強
いやつがある。強いヤツの後ろ
について盤の四隅に自分の駒が



小泉潟公園のトンボ

つけば位が進み、勝つこともあ
る。プライドのある子は弱くと
もゲツカミにはならない。さて
石破茂が河野太郎のゲツカミと
なった。冷静で思慮深いと言わ
れている彼は目先の利益に走つ
た。河野のゲツ（尻）は臭くな
いか。ゲツカミになったのは石
破だけではないようだが。しか
し国民がコロナの恐怖におびえ
る中、ゲツカミゲームを楽しんで
いていいものだろうか。ねえ
地方創生の茂ちゃん、イージス
アショアの太郎ちゃん。



白い巨塔

杉山病院（潟上市）

肥田野 文夫

このコロナ騒動で、北海道に帰省したら2週間の自宅待機が待っており、買いためてあった連続テレビドラマのDVDを見る時間ができました。山崎豊子先生の『白い巨塔』の第1作（田宮二郎主演）は里見役が山本學で渋い男でした。私は昔から人嫌いでとにかく人と関わらないですむ「学者」になりたかったのですが、父は医者にしたかったらしく中学生の時に『愛と死をみつめて』を母と見に行かされました。当時は国立大・慶応大医学部は難関で高校は受験校に合格後、初のテストで3桁（泣）の順位になり人生お先真っ暗でしたが、一生分の努力を使い果たし、なんとか

合格圏までたどり着きました。しかし、第1志望校には振られて、父の夢は脚光を浴びる外科医でしたが、20才で将来を諦め一度も日の光を浴びずに退場の時期を迎えました。唐沢寿明版を初めて見、「やっぱり若い役者さんだと…」という評判でしたが、いやいや全21話圧倒されました。矢田亜希子、水野真紀、黒木瞳の女優陣が美人過ぎて（だいたい女性のほうが短くも美しい時期があり、森なんとかさんの「女性の話が長い」欠点はその代償で、あらゆる人間に完璧などありません）まるで幻想みたいです。私の友人は超がつく美人の奥様を愛しています。が博愛主義者なので常

に複数の恋人は体力的にも大変らしく、そのために雨の日も吹雪の日も毎日病院の周りを走り続けています。ドラマの展開では、財前は悪役で転移を見落としたり過失で敗訴しますが、診断が100%正しい医師がいるとしたら、それは人ではなく神様で、そういう夢物語を望むのなら、医療よりも神や信仰に頼った方がいいでしょう。医は仁術ではありませぬし、自分が患者になってしまえば「優しい先生がいい」なのでしょうが、腕が最悪で人間性が素晴らしい先生に手術されて死んでしまうのもあまり楽しくないし、なんだかないってでも医者は診断技術と治療能力が必要十分条件で、それ以上はないものねだりかもしれません。数値化できない人間的な尊厳も信頼も不要で、医療はサービスマン、お客様は神様で「患者様」だから対等に…の風潮で、それなら（個人の感想ですが）医者はやりがいなんかあ

りませぬ。終章では「この裁判で、これからは傲慢な医師の態度は改められ、患者の声が届くようになるだろう」ですが、皮肉にも今はそれが現実となり、医師の「説明と同意」と患者様の「自己選択権」によって、患者側の治療の選択の幅が広がりました。この治療法では余命〇ヵ月、5年生存率が〇%とエビデンス（実証報告）による、まるで他人事のような正確な（笑）データが与えられ医師は傲慢でも尊大でもなく画面だけを見て患者様の顔を見ないただの素っ気ない情報提供者になって白い巨塔の理想が実現しました。この理想像は、不思議なことに医者も患者様もいつも不機嫌で不愛想で、双方、権利や正論や数字を叫ぶばかりのまあ修羅場です。北朝鮮はかつて「地上の楽園」といわれたそうで結局理想郷は地獄と大して変わらないのだというのがここでもわかるのです。



古谷ファミリー
クリニック
(男鹿市)

古谷 雅幸

正月明けより診察室で私もマスクをするようになった。そろそろ男鹿にも近づいてきたな、というより患者全員がしており、気まづくなつた為である。

6月、ようやくワクチン接種も進み外来の高齢者は「1回終わった」と、よほど嬉しいのだろう、笑顔で報告する。数週間までは諦め顔で「毎日20回電話しても通じない」の話を聞かされていた。「たいした外出もないだろうし、感染機会も少ないはずだから、急ぐこともない、いずれ予約も取れるだろう」と

いうも不安顔だった。

また、「予約は取れたが副作用が心配でどうしたものか」。毎日テレビで副作用の恐怖報道を見せられ、さらに高齢者は急げと不安をかきたてられる。「接種は義務でもないし、いやならいいが、デイスービスに行っているなら打ったほうがいいよ」と適当な話になつてしまふ。接種券が届くと是が非でも打たねばと思ひ込ませる風潮となつており、都会では高齢者が満員電車、長時間歩き会場へ。過酷、密なこと必須。

すでに医療従事者として打ち終えた身としては恐縮であるが、死亡率が高い為と優先順位が高齢者からというのも何だか腑に落ちない。クラスターを発生させないことを主眼とするなら密にならざるを得ない所(病院、介護施設、学校、保育所、寮生活、部活、スーパ、コンビニのレジ係等)からだろう。子孫世代の為なら喜んで高齢

者は席を譲るのではないだろうか。

当初自分も日常の風邪ウイルスの変異株、1年もすれば収束だろうと思つていたが、尾身さんは第2波、3波は必ずくると断言していた。記者会見では首相と並んで補佐しており、数カ月はやはり番頭さんかと歯がゆく感じていたが、政府のゴッソ・トラブル、オリパラ中止すべしの提言も全く無視され尾身・菅バトル開始。「尾身をだまらせろ」と言つたとか。かなり食いつがるも一時は尾身の負け。開



裏をみせ 表をみせて 散るもみじ
良寛 (小泉潟公園水心苑)

催が決定すると選手を慮おもはばかつてかスポンサー絡みか、マスコミ、識者も反対発言は一気にトーンダウン。首根っこをおさえられているということかな。

分科会会長の尾身さん(私と本誌の佐々木康雄編集長と自治医大1期生)、政府にも行動制限の願いくらいしか発言権がなく難儀な仕事だと推察する。

一方、コロナ発端の中国の初期態勢はすごい。多くの都市のロックダウン、歩道、水路にならやら消毒液、村によそ者が入らないよう農道封鎖、数千人規模のプレハブ病院(2週間で造り上げたようだ)。昨年1月頃のニュースだったが、ここまでやるか。それでいて飛行場は制限なく全世界へ飛んだようだ。コロナの感染力、病原性、治療法もすでに研究されていたのだろう。やはり武漢研究所発か。日本では困難かもしれないが、蔓延地域では超法規的、非合法的措置(ワクチン接種も年

年齢、間隔、筋注とかメーカーの指示通り。治療薬の規制緩和、通勤電車、選挙延期、医療関係者への強制等)も必要でないか。もう9月中旬。最大の第5波の中、オリパラ終了。次期首相選挙で騒がしい。さらに4年後を見据えて税金使つての人気取

り、バラマキ合戦だろうし、政府もコロナ対策はもうお手上げで、これから何かするという気配もない。自宅療養で死亡、自宅で酸素、カクテル療法とか信じられない状態になっている。まん防・緊急事態宣言と関係なくピークは来ているようで、

ピークの山の大きさを抑制できるかの問題のようだ。秋田県では保健所のクラスター管理、病床確保は安定しており、次の第6波もまず安心。観光地、飲食店関連以外は大きな痛手なく経済は何事もないように回っているように見えるが、お願い程度

の行動制限よりワクチンだろうね。医療体制を整え、じつとコロナのご機嫌をうかがうしかないだろう。それにしても運転中、海辺の散歩者のマスクが気になってしょうがない。今回は大窪先生にお願いします。

ナイトキャップ。

ドラマを肴に

たむら船越クリニック (男鹿市)

田村 広美



「だいたい」「たぶん」「なんとかなる」で60年以上生きてきた。自他ともに認めるルーズで大雑把な僕だが、実は大の心配性でもある…。

「末梢点滴ラインから急速輸液お願いします。あとクロルフェニラミン10mg」「ワンショットでいいですか?」「ですね」

(クロルフェニラミン、うーん、あんまり使ったことないな。まー、人手が余ってればやってもいいか。10mgって6歳の子に多くないか?)

「アドレナリン0.3mg大腿に筋

注して」

(そう、やっぱりこれが最初だろう。大人なら0.5mgだけど、6歳だもんね)

「気管支がけいれんを起こしています。酸素飽和度70です」

(気管内挿管だな)

「お口にストローはいるよ」(なるほどそういう表現もあるんだね)

「ダメです、換気できません。酸素飽和度62です」

(挿管しても気管の痙攣が強いと空気を肺まで送り込むことができない)

「アドレナリン静注しますか?」

(それはやめた方がいい。それよりもう一度筋注するか、あるいは…)

「いや、気管内投与します」

(そう、もう気管チューブ入っているからね。気管も投与ルートに使える)

「アドレナリン1筒を生食で10mlに」…「どうだ?」

(あー、この『どうだ?』は、わかるなあ。手術や救急の現場、大変な状況、難しい局面で、渾身の一手をうって『さあこれでどうだ』これで、うまくいってくれ。心臓よ、動け。出血よ、止まれ。血圧よ、

上がってこい。さあ、復活しろ。という感じ。誰かに向けた言葉ではない。自分がその場でできることを精いっぱいやり、半分析りにも似た『どうだ?』

一人で領きながら2杯目のショットグラスを空ける。奥さんが撮りためたドラマをゴロゴロしながら見るのが日課になっている。「指示する内容は、俺とあんまり変わらな

はね。言い方とルックスが全然違うでしょ!」どの辺が『似てるな』なのよ!」

そりゃまあ、確かに喜多見先生の方が、少し背は高いし、少しだけ引き締まっているし、少しだけさわやかだけど…。

心配性の僕は備えることが好き(?)だ。集団接種会場でも、行くたびにココソコと救急カー

ない。輸液用の生理食塩水は?

点滴の道具は? 気管チューブは? 喉頭鏡のライトは点くか?

固定のための絆創膏は? 血圧計やパルスオキシメーターはきちんと動く? 夜の接種の時に万一の停電に備えてライトをカバンに入れているのは僕だけだろう。

少し欠けた月に見送られながら車に向かう。「ああ、今終わってた。うん、大丈夫だった。平和だったよ。これから帰る」

今日ほどのドラマを見ることになるのだろうか。ウイ

スキーは何があつたつけ? ソーダ水は? 氷あるかな?

まー、なんとかなる。(酔)



編集後記



常に最悪の事態を想定して対応して参りますと岸田首相はいうけれど、ブラジルのボルソナロ大統領やトランプ前大統領の「ただの風邪だ!」も捨て難い白玉の歯にしみとほる秋の夜の、酒はしづかに飲むべかりけり(若山牧水)

▼今号にも多数の玉稿を賜り感謝感激。巻頭を飾る中鉢先生は

緻密なタッチでコロナの今後を描く。第6波は必ず来る、終息への道は遠い、武器のワクチンは道半ば、行動制限しかない: 嗚呼! ワクチンの注射器充填に奮闘する佐藤友紀先生。彼らの血湧き肉躍る一夜市の宴に皆さんもどうぞご参加を。編集子も花火に貧者の一灯を捧げた▼正和会の柴崎氏からよく目の行き届いた男鹿老健の紹介を頂いた。笑うと眉がへの字になる敏央理事長をぜひ盛り立て



多人数に対応した臨時的「接種後観察室」(五城目町集団接種会場)

ください▼ワクチン業務の帰りに「まさか自分のルーツに近づくとは」と下町を避けた小林先生に

は驚いたが、祖父様が小田野直武の「不忍池囃」を衣装した話にはもっと驚いた▼浩和先生は没後20年になる竹本先生ご提唱のジェロントピア構想に言及。しかし、ゴルフ場は広々としているのに管理者がそうでもないのはコロナのせいだ▼歯科医師会の鷺谷会長からコロナに絡む健口談義とご挨拶を賜った。今後とも『お大事に』を宜しく▼ケンシン君、どこへ行こうとしたの? 範明会長の一文に



Early Autumn in さとぴあ
ナオコ & ジャズフェロー (秋田市上新城)

編集子まで手に汗を握った。晴耕雨読ならぬ雨の日も耕すボスがかまってくれないので反旗を翻したのだろう▼98歳でも戦いはやめない、日も暮れそうにない怪老、佐藤愛子氏を萱場先生は魅惑的に紹介して下さった。先生の紹介本はいつも読後が爽やかだ▼晴耕雨読ならぬ晴読雨読の浅利先生ご健在。若き日の読書は老いてからモノをいう。ウエブ勉強会を巧妙にまとめてくれた吉田先生、洒脱なナイトキャップ「酔」に今回も感謝▼まだ甘口の酒が多いとお嘆きの貴方に、大窪先生と肥田野先生



コロナ禍のため「ジャズライブ」と称することは出来ず客数も制限。旧上新城中学校を利用したさとぴあはパウハウスが指定管理運営中 (9月25日)

の辛口エッセイは歯にしみたらうか。見解相違もあるに違いないが、医師会には多彩な顔ぶれがいるとお見知りおきを▼学生時代のある夏、古谷が操る1人乗りヨット「ヤマハ・ミニホッパー」に尾身さんと編集子も乗り込み、土崎沖で転覆した。古谷がヨットを起す間、我々はその場を離れ、するうちに唯一救命胴衣を着けていた尾身さんは沖へ流され、ヨットは風に押されて陸側へ。取り残された私は泳いだが岸は遠い。尾身さんは猫かきで、古谷はジグザグ航法で風

上の私を必死に目指す…あれから数十年、尾身さんは「俺は今でもお前が溺れる夢にうなされる」という。土崎の港祭りで共に足の爪をはがしたこともあった。彼には国家国民のためもう少し励んで貰うしかない▼103号は来年1月発行。コロナがケンシン君みたいになまた迷い出て来ないことを祈りつつ乞うご期待。

(編集長・佐々木康雄)



今年の西瓜は甘かった (ジオンとチョコ)

表紙説明

川原毛地獄 (湯沢市)

大日向かなえ

(千葉克介写真教室)

青森県の恐山、富山県の立山と並ぶ日本三大霊地の1つ。標高800mで歩くと意外にきつい道なのです。大同(807)2年に月窓和尚が

開山したと伝えられ、昭和41(1966)年まで硫黄の採掘場でした。

一木一草もない岩肌のそこかしこから水蒸気や火山性ガスが噴出し、鼻をつく硫黄臭と相まって今なお灰色の地獄絵図ながら。近くの天然露天風呂「川原毛大湯滝」も見逃せません。

お便りは 〒018-1401

潟上市昭和久保字町後173-42

医師会メールアドレス

info@oknmed.jp

ハートインクリニック 佐々木 康雄